

「学習センターを目指した学校図書館」 ～子どもたちの学力向上に向けて～

・2019年度 府市合同研究発表会

大阪市立淀中学校
中森 敬子

【1】淀中学校の現状

- ・校舎建て替え中
- ・図書室はプレハブの仮校舎
- ・昼休みは毎日開館
- ・放課後はほぼ毎日開館
- ・土曜日は月に2~4回学習会を開催(午前中)
- ・図書室は生徒たちの人気スポット



昼休みの様子

人気の漫画コーナー



【2】問題点

- ・プレハブの仮校舎のため、かなり狭い
- ・バーコード化されていない
- ・蔵書にやや偏りがある

プレハブ仮校舎での 学習会

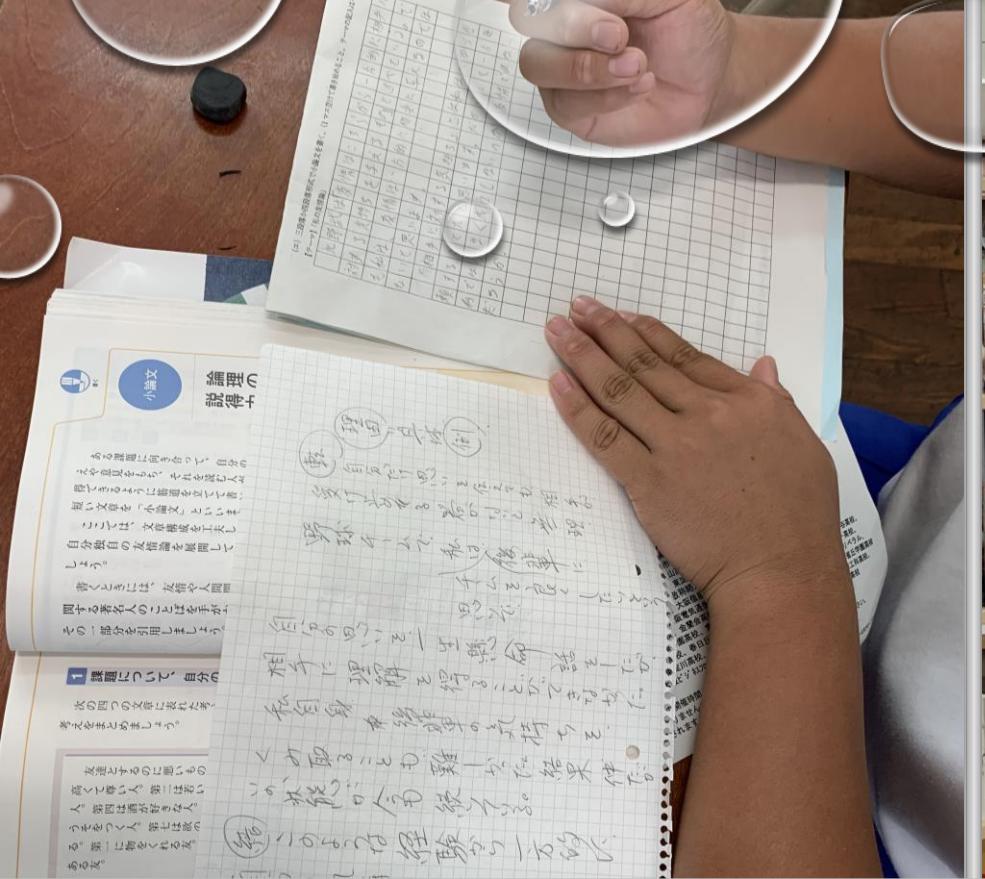


【3】淀中学校の取り組み

- ・昼休みの図書館開放
- ・放課後学習会
- ・土曜学習会、作文教室
- ・入試コーナーの設置
- ・聴覚コーナーの設置

テスト前には生徒であふれかえり、図書室は満席
卒業生の学習ボランティアが指導





「書く力」を養成するための作文教室

土曜学習会の後、調理実習 学習ボランティアと生徒が共に昼食会

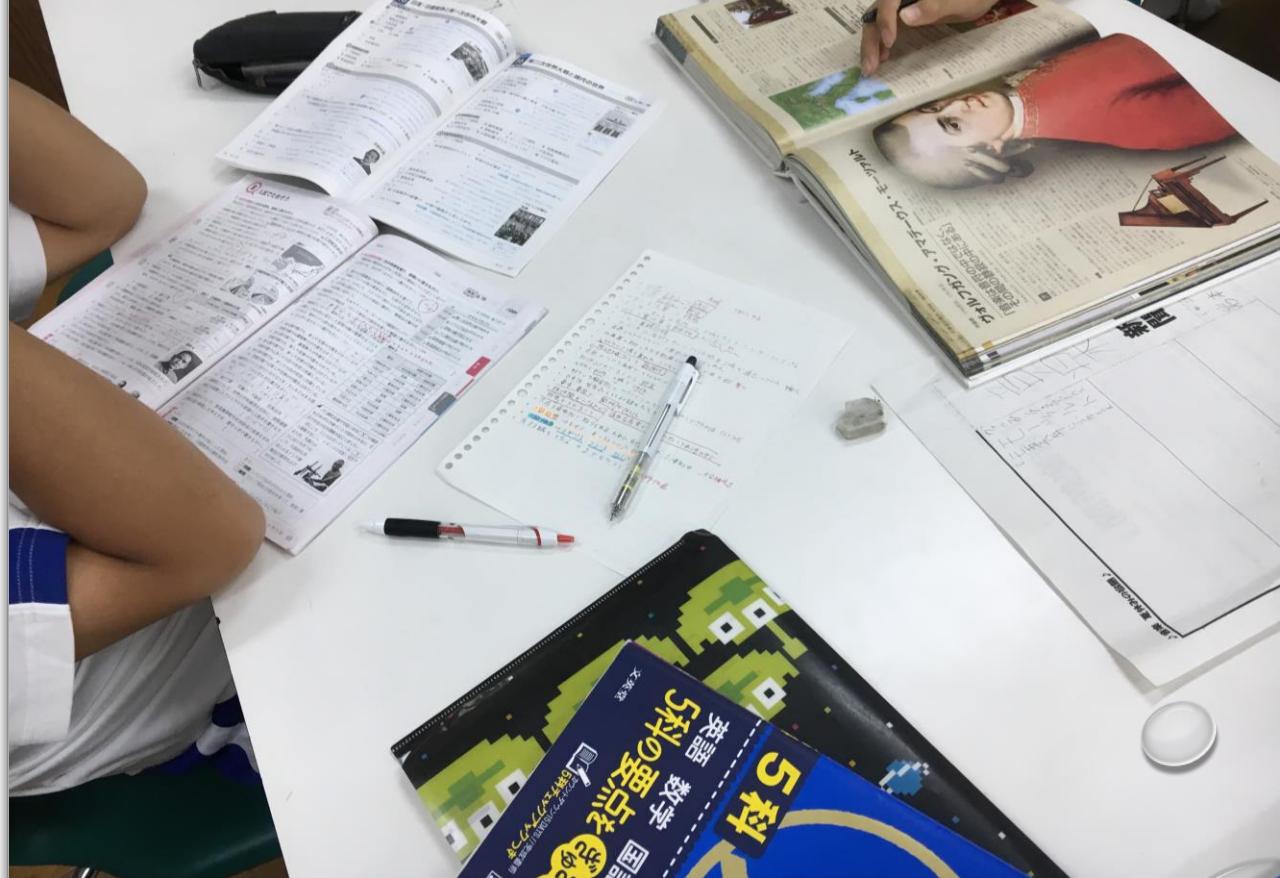
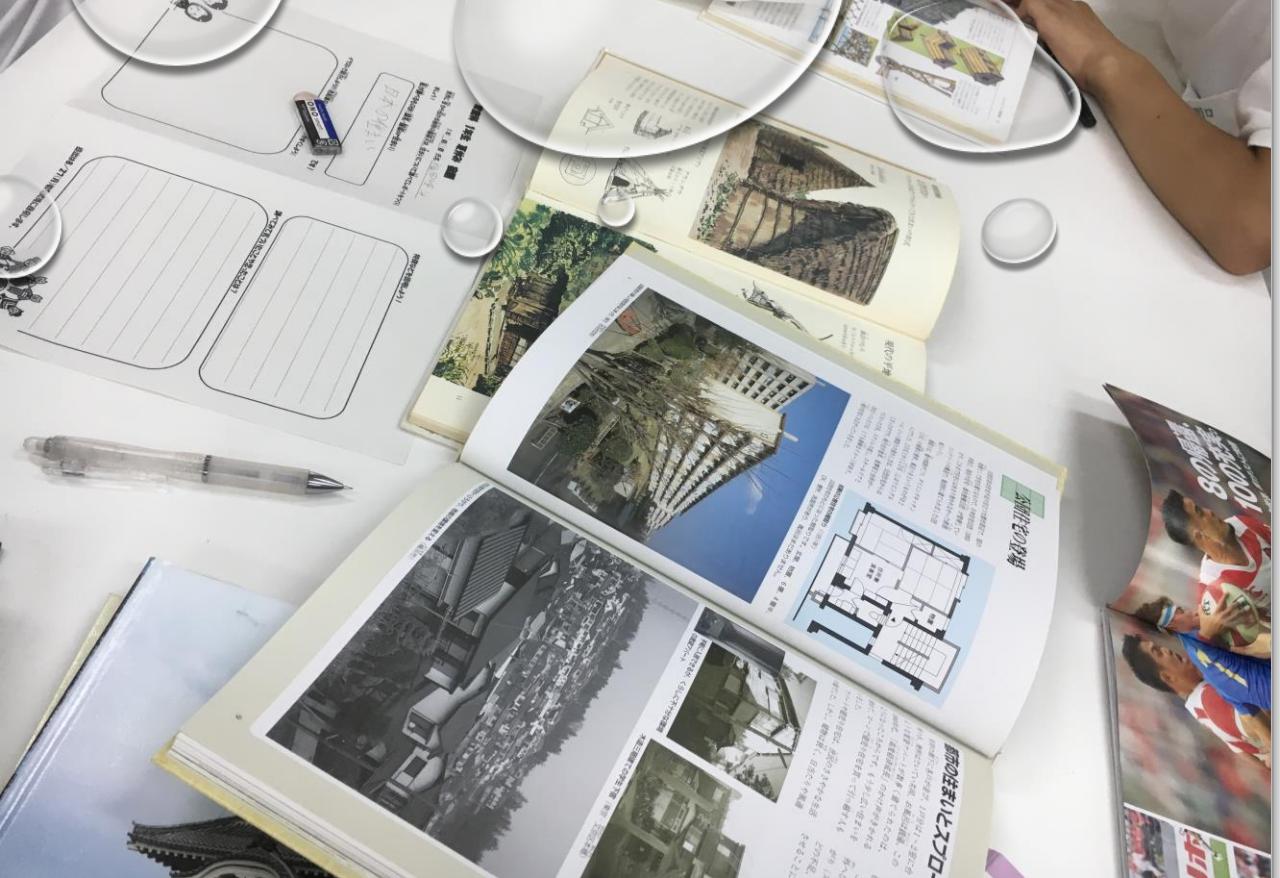


【4】授業で使える図書館

- ・【地域の公共図書館との連携】
- ・西淀川図書館の団体貸し出しを利用
- ・西淀川図書館のお話ボランティア「ぱたぽんさん」によるストーリーテリング
- ・【主体的対話的な学びのために】
- ・グループワーク
- ・タブレット端末と併用



・公共図書
館の団体
貸し出し
を利用

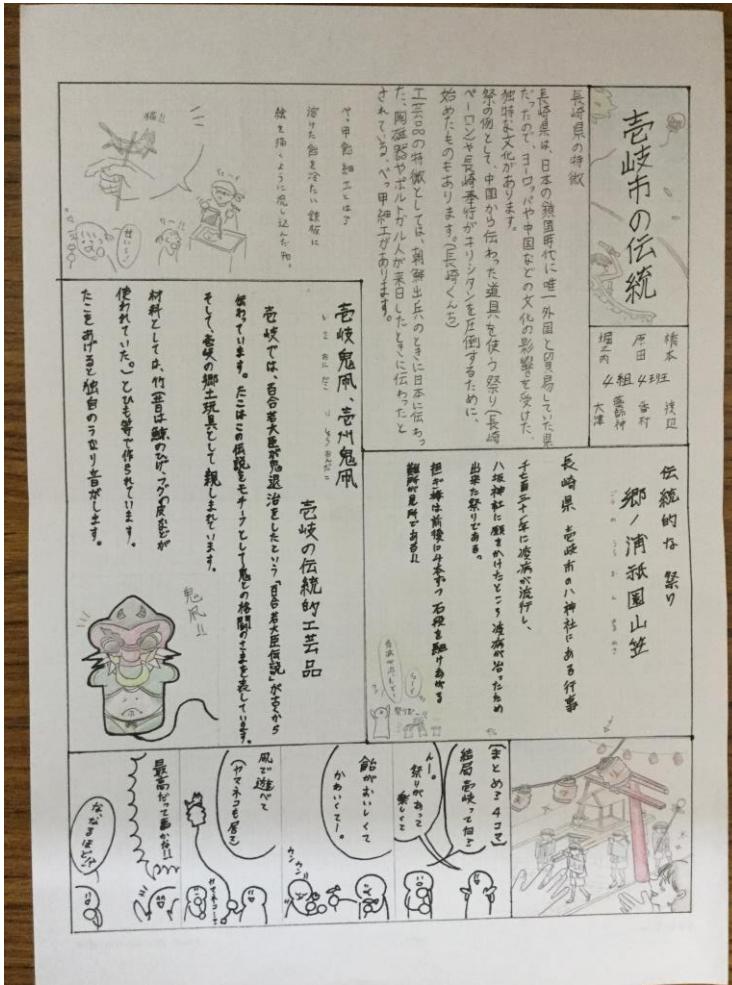


夏休み課題に活用

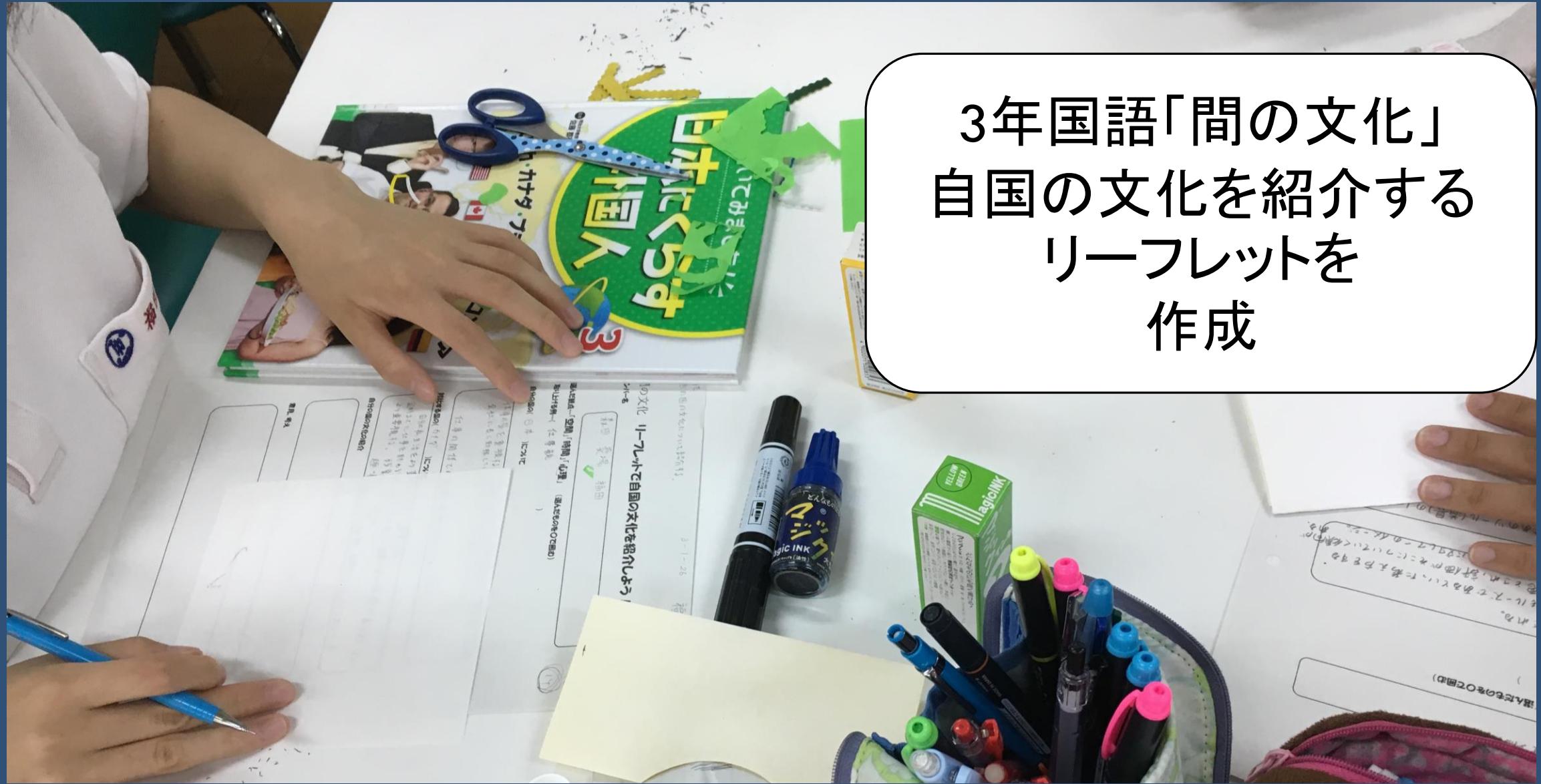
ぱたぽんさんによるストーリーテリング



修学旅行新聞を作成し、 研究発表



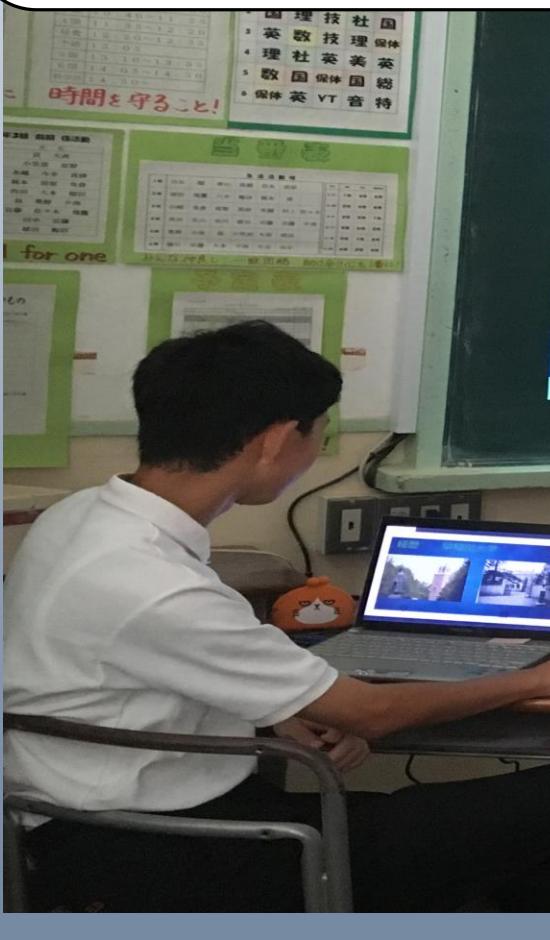
3年国語「間の文化」 自國の文化を紹介する リーフレットを作成



文化祭で発表



2年 国語「短歌の世界」 通訳および作者について調べ、 パワーポイントを使用したプレゼン



【その他の活動】

- ・辞書を使用した文字の成り立ちを学習→篆書を学び、篆刻に挑戦
- ・読書活動を推進し、書評漫才グランプリに
出場

辞書を使って文字の
歴史を学ぶ



原田の森ギャラリー見学



総合文化祭に出展





書評漫才グランプリに
出場

【5】学習センターとしての図書館を目指して

- ・バーコード化
- ・パソコン導入...オンラインでの検索、学習教材
- ・授業で使用ができる
- ・子どもたちの憩いの場